

地域包括ケアモデル事業 全体(平成26年度～平成28年度)の取組の評価

☆:特に顕著な取組を実施

分野	項目	凡例	①地区医師会モデル									②訪問看護ステーションモデル			③医療・介護等一体提供モデル			④認知症対応モデル		
			安城市			豊川市			田原市			新城市			豊明市			半田市		
			H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
関係機関のネットワーク化	地域包括ケアの理解 課題・認識の共有	◎:連携会議を4回以上開催																		
		○:連携会議を3回開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
医療と介護の連携	ICTシステムの活用	△:連携会議の開催が3回未満																		
		◎:引き続きICTを推進																		
	○:ICTを新たに導入	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	
	△:ICT導入を検討																			
顔の見える関係づくり、資質向上	◎:多職種研修会を3回以上開催	○:多職種研修会を2回開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		△:多職種研修会の開催が2回未満																		
住民への普及啓発	◎:講演会等を2回以上開催	○:講演会等を1回開催	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		△:講演会等を未実施																		
予防	新たな予防の取組	◎:新たな取組を実施・推進																		
		○:従来の取組に新たなメニューを追加し実施	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
生活支援	生活支援の強化策の検討(取組)	△:従来と変わらない取組を実施																		
		◎:新たな取組を実施・推進																		
住まい	要介護等の高齢者の住まいの課題に対する検討(取組)	○:ニーズ調査実施又は検討会議1回以上開催	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	○	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
		△:ニーズ調査及び検討会議を未実施																		
認知症(認知症対応モデルが対象)	認知症対策の充実	◎:新たな取組を実施・推進																		
		○:従来の取組に新たなメニューを追加し実施																	◎	◎
総括	総評		地区医師会と連携し、おおむね順調に取組を進めている。			地区医師会と連携し、順調に取組を進めている。			地区医師会と連携し、おおむね順調に取組を進めている。			訪問看護ステーションと連携し、おおむね順調に取組を進めている。			藤田保健衛生大学と連携し、順調に取組を進めている。			認知症対策を始め、順調に取組を進めている。		
	主な取組及び課題		地域ケア地区会議において、地域課題についての十分な検討を行い、地域ケア推進会議(市域)へ提起していくことが必要である。 また、昨年度住まい会議を開催したものの今年度は未開催であり、今後住まいニーズや課題を把握する等の取組を進めていく必要がある。			生活支援については、「いきいき元気メール」による高齢者への情報提供の拡充等の数多く実施している(☆)。 住まい対策については、「高齢者すまいの手引き」の作成や実態把握調査が進められており、今後さらなる住まい対策の展開が望まれる。			今年度、生活支援部会が設置されたところであり、新たな取組が望まれる。 住まい対策については、今年度実施したアンケート結果を踏まえた取組が必要である。			社会資源が限られる中で、訪問看護ステーションを中心に、医療・介護が連携し、さらなる在宅医療の推進が望まれる。 住まい対策については、本年度実施したアンケート調査の結果を踏まえ、具体的な取組が必要である。			ケアプランについての多職種合同ケアカンファレンスの開催や、退院支援地域連携実証事業(患者退院後の追跡調査)など、特徴的な事業に取り組んでいる(☆)。 住まい対策については、豊明団地(UR)以外の地域における対策の推進が望まれる。			民間事業者との連携による市民公開講座の開催や行方不明高齢者捜索機器貸与事業の実施等、認知症に関する数多くの対策を展開している(☆)。 住まい対策については、アンケート調査による課題の把握や市営住宅の独居者立入りの制度化などの取組がされており、今後さらなる取組の検討が望まれる。		